

「宇部市地球温暖化対策ネットワーク」設立10周年に寄せて

監査 片岡 英文（東岐波市民センター 所長補佐）



(写真：東岐波校区学童保育クラブにて)



(監査作業中の筆者)

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）が10周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。これも中西代表をはじめ会員各位のご尽力の賜物だと思います。

UNCCAは、「京都議定書」の目指す温室効果ガス削減に向け、「産・官・学・民」の相互理解と協力のもと、地域における地球温暖化防止対策を協議・実践、環境共生都市の実現を目指し、平成14年10月に設立されました。私自身は、平成20年4月に宇部市環境共生課に配属されたことがご縁で、現在まで監査という大役を引き受けさせていただいております。

監査をさせていただいて改めて気づきましたことは、UNCCAの運営にあたり各種の補助メニューを積極的に活用し、財源の確保に日々努力されていることです。平成17年7月、地球温暖化対策事業をこれまで以上に効率よく実施していくため組織等の見直しが行われ、事務局が市環境共生課から民間に移管しましたが、補助メニューとの戦いはそこから始まったと聞いております。

補助メニューに応募し、それが採択され、事業を実施し報告する。一言で言えば簡単なことのように見えますが、その影には多大なご努力があると思います。その努力の結果として、フィフティ・フィフティ事業による環境教育をはじめ、省エネ家電普及促進事業、E-サイクル事業、ソーラーマイレージクラブ事業などを数多くの有意義な事業が実施されてきました。

さらに、最近では多様なニーズに応じ、地域の学童保育クラブでの環境教育の推進や高齢者を対象とした省エネ学習会、動画とスライドで自転車の安全な乗り方とマナーを学ぶ自転車マナー教室の実施など、身近なところに活動の輪を広げておられます。

最後になりますが、昨年発生した福島第一原発事故などで社会環境が大きく変化し、省エネを意識したライフスタイルなどが普通に求められるような時代となりました。今後も時代のニーズを意識した地球温暖化対策事業の継続・拡大とともに会員数の増加・組織の強化に努められ、より一層のUNCCAのご発展ならびに皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。